



「おにたのぼうし」研究(二〇一〇年度卒業論文要旨集)

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 北海道教育大学国語国文学会・札幌 公開日: 2012-01-24 キーワード: 作成者: 千葉, 公美子 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.32150/00007376

「おにたのぼうし」研究

国語科教育学研究室 七四七二 千葉公美子

本研究の狙いは、「おにたのぼうし」の主題を先行研究から整理し明らかにしたうえで、その主題を生かした指導方法を考察することをねらいとした。そこで、第一に、先行研究を整理しながら「おにたのぼうし」がなぜ、第三学年の国語教科書に掲載され続けているのかを考察してゆく。第二に、各教科書会社や絵本を比較しながら、本文や挿絵が与える影響について明らかにする。第三に、以上のことを踏まえ、「おにたのぼうし」の指導方法を提案する。

分析の結果、「おにたのぼうし」の主題は人間の固定観念や偏見の不合理さがありながらも、それを乗り越えようとするおにたの力強さではないかと結論づけた。逆境を乗り越えようとする力強さを教育する為に、「おにたのぼうし」は掲載され続けているのではないか。また、挿絵については、その効果によって読み手側の視点が移り、「おにたのぼうし」のクライマックスの捉え方に影響を及ぼすと考えられる。さらに、物語文教材と、読み物の発展教材との扱いの違いについて、挿絵の枚数や、使用場面を比較した結果、物語文教材としての扱いの方が、背景描写が少なく、おにたの鬼の描写についても少ないことが分かった。これらを踏まえて、登場人物の視点や、考察した主題を意識した指導法を提案した。